

なぶらんと里 ぶくみつ 福光まち歩き vol.1 with 南男 砺子

先人たちの様々な知恵や技を受け継いで、育み続けた文化の薫るまち、福光をそぞろ歩き。いつも飾らない素朴なまちで、粋な男性を巡る旅。

福光ならではのモノ、ヒト、コトを巡る。まちなかで出逢う粋な男性とのおしゃべりも楽しみ。おおらかな風景に包まれて、福光をゆったりとそぞろ歩く。

1 JR福光駅



待合室掲額(けいがく)「無事」。昭和22年、駅職員が棟方志功に依頼して書いてもらい、駅長室に掲げられてあった。「無事」は、柳宗悦の「美の法門」の中の、「執心(しゅうしん)より解放された無心の境地」を「無事」より引用。旅客の平穩無事と無事故を願った。無事の事が「車」になっているのが、棟方らしい茶目っ気であろう。

受託業務先(株) パールトラベル 南砺市荒木5322 JR福光駅内 ☎0763-52-4350

2 駅前棟方モニュメント



「福光」の由来は、水の豊かさからくる地名「福光」の「噴き満つる」から。設置されているモニュメントは、医王山の鷲岩や桑山をイメージ。版画パネルは、棟方の代表作「女人観音菩薩」。昭和27年スイスのルガノ国際版画展で優秀賞を受賞。戦後、日本の美術が初めて海外で認められ、「世界の棟方」になった作品。

3 南砺バットミュージアム

現役・往年のプロ野球選手のバット500本を展示。展示されているバットの多くは選手がバット製造会社へ注文する際に見本品として送ったもの。しかし、なかには製造に関する指示の書き込みがあるものや実際に使用した際に付いた証である滑り止めやボールの痕が残るものもある。プロ野球選手以外にも、メジャーリーガーのバットや型見本、懐かしい野球グッズなども合わせて展示されている。一部バットは実際に触れることが出来るので、プロ野球選手の気分を味わえる。

南砺市福光6754 ☎0763-52-0576



福光の野球バット発祥の地 (本町モーターズ付近)

福光で最初にバットを作り始めた波多栄吉さん(明治31(1898)年生れ(1967年没))の住居兼作業場跡に設置。現在も年間約20万本を生産し、6割近い全国シェアを誇る「バットの町福光」をPRしている。故波多栄吉さんは若くして運動用具の将来性に着目し、名古屋で木工技術を習得後大正11(1922)年からバットを製作し、昭和13(1938)年に波多製作所を設立。バットやスキー板などの木製運動具製造の一大メーカーに育てた。

本町モーターズ:南砺市福光6877-2 ☎0763-52-0597



**特典**  
まち歩きパンフレット提示の方に限り、甘酒(米麹製ノンアルコール甘酒)1杯サービス(試飲)  
北陸唯一の種麹(麹菌)店。昔ながらの製法「こうじ蓋製法」を守り続け、すべて手づくりにこだわり米麹を育てている。無添加、こだわりの味噌、甘酒が人気。

4 杓子屋



福光の名物のひとつ「どじょうの蒲焼」を提供。店主は3代目。蒲焼の美味しさの重要な要素である「タレ」は創業当時の秘伝。国産のどじょうにこだわり、現在は大分県から養殖のどじょうを仕入れている。とても活きがよく、大きなどじょうは、臭みが無く、食べごたえがある。福光における「どじょうの蒲焼」のルーツ的なお店。



南砺市福光7385 ☎0763-52-0301

コース紹介

- 1 JR福光駅 徒歩1分
- 2 駅前棟方モニュメント 徒歩5分
- 3 南砺バットミュージアム 徒歩1分
- 4 杓子屋 徒歩1分
- 5 鎗乃先酒店 徒歩1分
- 6 萱笑(街中にぎわい式号館) 徒歩3分
- 7 水口青玉堂 徒歩4分
- 8 トヤマ運動具製作所 徒歩6分
- 9 石黒種麴店 徒歩5分

5 鎗乃先酒店



南砺市福光6776-2 ☎0763-52-0354

福光の地酒「成政」を多く取り扱う。店名の「鎗の先」とは、戦国時代の武将「佐々成政」が槍を突いて湧き出したという伝説の医王山の清水「槍の先の湧水」から。石川県の酒造会社で杜氏らとの酒造りの経験がある若き店主は、「お客との会話の中から、お好みのお酒をおすすめすることが、酒屋の昔からのスタイル」という。確かな経験と知識に裏付けられた店主に、あなた好みのお酒をすすめてみられてはいかが?

6 萱笑(街中にぎわい式号館)



南砺市福光6771 ☎0763-52-5033

手打ちそばの店。蔵を利用した隠れ家風の個室がある。店舗奥には、南砺市福光地域に疎開していた板倉(はんが)家棟方志功の傑作の一つ、絵巻物「法林經水船巻(ほうりんきょうすいせん)」(二巻、1945年)の高精度複製作品を展示する「街中にぎわい式号館ぶくみつ」がある。「法林經水船巻」は福光に疎開してわずか2カ月のころの作品。焦土の東京とは異なり別天地のように美しい町や山々の風景を、かわった人々の様子とともに色鮮やかに描いている。志功の再出発への思いが強く込められた名作。

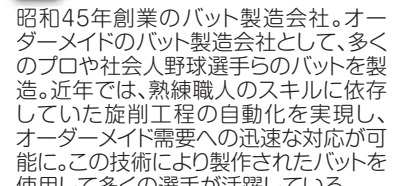
7 水口青玉堂



南砺市福光7163 ☎0763-52-0512

創業明治13年。店主は5代目。地元でしか採れない貴重な玉石を用いて、盃や装飾品を製造。職人歴34年の店主は、幼少期から川原へ祖父と出掛け、原石採取を手伝う。いまでは、一目見、手触りなどで原石の善し悪しを見極めるほどに。百有余年の歴史ある「福光ならではの」福光唯一「な逸品に出逢ってみませんか?」

8 トヤマ運動具製作所



南砺市福光275 ☎0763-52-0671

昭和45年創業のバット製造会社。オーダーメイドのバット製造会社として、多くのプロや社会人野球選手らのバットを製造。近年では、熟練職人のスキルに依存していた旋削工程の自動化を実現し、オーダーメイド需要への迅速な対応が可能に。この技術により製作されたバットを使用して多くの選手が活躍している。

9 石黒種麴店



南砺市福光新町54 ☎0763-52-0128

創業明治28年。全国に10件余りしかない麴の素を作る麴店で、北陸では唯一。店主は4代目。独自の種麴を用い昔ながらの「こうじ蓋製法」による酵素の強い手作り糴を使い、天然醸造生の「無添加味噌」や北陸名産の「かぶら寿し用甘酒」「飲む甘酒」「塩麴」などを製造販売。名物店主は、テレビ、雑誌、ラジオなどの取材は勿論、各地で講演活動なども精力的に行い、日々発酵食品の良さを伝えている。立ち寄り際は、是非お話し好きな店主と会話を楽しんで頂きたい。但し時間には充分ゆとりを持って…。

観光ガイドの紹介

- 予約可能人数/1名様より受付いたします。団体様も歓迎いたします。(10名様以上の場合、人数に応じてガイドを増員します)
- 受付可能日/ご利用日の7日前まで、申込書に必要事項を記入の上、南砺市観光協会(電話:0763-62-1201)へお申込みください。受付後、こちらからご返事いたします。
- 料金/ガイド料は無料です。ただしガイド入につき交通費として、1,000円頂戴いたします。
- 集合場所/JR福光駅 など
- 連絡先/(一社)南砺市観光協会 TEL(0763) 62-1201 FAX(0763) 62-1202
- 申込み用紙/南砺市観光協会ホームページ「旅々なんと」内、観光ボランティアガイドのページからダウンロード(PDF)下さい。

小矢部川ライトアップ

小矢部川の土手に植えられた桜の木(通称小矢部川の千本桜)を春は夜桜をライトアップする。冬は枝がイルミネーションで飾られる。南砺市観光協会 ☎0763-62-1201

福光ねつくり七夕祭り

毎年7月下旬頃開催。約300年前から続く「熱送り」は、土用の三番に行われる病害虫の被害を防ぐとともに農作物の豊作を願う行事。この伝統行事に合わせて、福光商店街を中心に行われるのが、この祭りです。七夕飾りの歩行者天国、大太鼓のねり打ちや民謡街流し、花火など多彩なイベントが盛大に繰り広げられます。南砺市商工会福光事務所 0763-52-2038

南男 砺子 NANTO DANSHI LIFE IS COOL

南砺男子とは。南砺の「魅力発信」プロジェクト。南砺で活躍する男性らの「格好(かっけい)え〜」を発信する。自然、歴史、文化、産業…様々な魅力のあふれる南砺。それらに携わる「南砺ならではの」人びと(男性)を、「格好え〜」をキーワードに集め、発信している。

まち歩き×南男 砺子

まち歩きで出逢う南男 砺子に是非お気軽に声を掛けてください。南砺ならではの魅力、南砺の格好え〜男性らが、そっとあなただけに教えてくれますよ。